

公表

事業所における自己評価総括表 2024年度

○事業所名	けいあいフレンズ		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	R6年 12月 31日		R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや家族からの相談や申し入れについて迅速かつ適切に対応し保護者の方の不安や悩みに寄り添っている。	保護者の方との連絡ノートは出勤する職員全員が確認し、必要に応じて会議や話し合いの場などを設けている。	不安や悩みを打ち明けづらいという保護者の方もいると思うので、短い時間ではあるが送迎時にこちらから声をかけ近況を聞いていきたい。
2	職員が研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	研修のお知らせを事務所に掲示し、職員会でも周知している。また、保護者会に講師を招き職員も参加させてもらい研修を行っている。(年2回)	研修後、職員間で共有できる時間を職員会以外でも確保していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会が少ない。	他事業所が交流ホールを使用している際、一緒に活動する事はあるが回数は多くない。	他事業所との交流の際などには、各々に好きな遊びをするだけでなく、ゲームを取り入れるなどして共に過ごす時間を充実させていきたい。
2	日々の支援に関して記録をとることができていない時がある。	当日の記録を記入する時間が午睡時のみとなっている。	記録時間を午睡時のみでなく、朝の自由活動の時間も使い記入していきたい。
3			